

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィルサボキッズ廿日市SST s		
○保護者評価実施期間	2024年12月16日		～ 2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2024年12月16日		～ 2024年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の皆様との日々情報共有を行い、連携を図っている。	①連絡帳のやりとりを活動後に必ず行っている。 ②送迎職員は必要に応じて固定化し、保護者の方から発信がしやすい環境を整えている。 ③LINEを使用し、保護者の方からの発信には迅速に対応できる環境を整えている。	今後も管理者中心に業務を行っていくために、その他業務を他職員へ割り振ったり、効率よくミスなく業務を進めるための方法を検討します。
2	様々なプログラムを行っている(プログラムが固定化していない)	①曜日ごとに担当職員が立案を行い、他職員が助言やサポートを行っている。 ②土曜日は体験に特化したプログラムを行っている。 ③個別支援のお子さんの対応も行っている。	今後も職員研修やミーティングを実施し、職員の能力の向上を図り、様々なプログラムを提供できるような環境を整えていきます。
3	職員間の情報共有が適切に行えている。	①毎日ミーティングを行い、情報共有を行っている。	定期ミーティングに加えて、LINEWORKSを活用して情報共有を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の住民やお子さんとの関わり、一緒に活動する機会が少ない。	①感染対策で地域住民やお子さんとの関わりを控えてきた。 ②平日の活動では時間や場所の制約があった。	①マスク着用、消毒等を徹底する。 ②地域の施設を使用する、土曜日の活動でイベントに出店、参加する。
2	保護者同士の交流の機会がほとんどない。	①感染対策で交流の機会を控えてきた。 ②交流を望まない保護者がいた。 ③時間や場所の制約があった。	①マスク着用、消毒等を徹底する。 ②イベントを行う際には自由参加とし、保護者の皆様にも周知する。 ③3か月に1回程度、ウィルサボキャンパス廿日市が行っているカフェトレーニングの会場の使用を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ウィルサボキッズ廿日市SSTs

公表日 令和7年2月14日

利用児童数 60

回収数 24

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2			記載なし	県の基準を満たす十分なスペースを確保しております。活動内容等、状況に応じて適切にスペースを活用してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22			3	職員は多いが、顔と名前が覚えられない。	県の基準を満たす職員を配置しております。今年度は同法人内で新規事業所を開設したことによる人員の異動もございました。今後は職員の顔と名前をご家族の皆様に見えて頂けるよう、お手紙やSNSを活用してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1		3	部屋と部屋の間の扉の部分が段差になっている。	事業所の設備等は県の基準を満たしておりますが、マンションの共用部分や建築基準の特性上配慮が難しい場所もあるため、今後管理会社と連携をとりながら対応してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	22	2		1	記載なし	清潔で心地よく過ごせる環境を今後も整備してまいります。
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1		1	記載なし	児童発達支援管理責任者を中心に指導員やセラピストが、特性に応じた専門性のある支援を今後も行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1		1	記載なし	今後も管理者を中心に、公表している支援プログラムを職員に周知徹底してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24			1	記載なし	今後も、児童発達支援管理責任者を中心に、ニーズや課題を分析した上で、計画作成を行ってまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1		2	記載なし	個別支援計画にそれぞれの支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定しております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24			1	記載なし	計画に沿った支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23			2	記載なし	日ごとに様々なプログラムを行ってまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	4	13	記載なし	今後は感染対策を徹底しながら、地域イベントへ積極的に参加してまいります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1		1	記載なし	引き続き、契約時、面談時に丁寧な説明を行ってまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24			1	記載なし	今後も丁寧な説明を行ってまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	4	4	4	記載なし	これまでご希望されるご家族への研修や情報提供などを行ってまいりました。今後は利用者の皆様に参加できる家族支援プログラムや研修会などを行ってまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24			1	なし	LINEや連絡帳を活用してお子様の日々の状況についてやり取りをさせて頂いております。お伺いした情報は職員間で情報共有しながらプログラムに反映させてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25				記載なし	年に2回の保護者面談を行っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25				記載なし	今後もお子様や保護者の皆様に寄り添った支援を行ってまいります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	6	8	6	そのような会に参加したことがない。	感染対策を徹底しながら、保護者の皆様の交流の機会を設けてまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2	1	記載なし	お子様や保護者の皆様からの相談や申し入れについて対応の体制を整備しております。面談時には口頭で保護者の皆様に体制についてお伝えしております。今後も迅速かつ適切に対応が行えるような体制を整備してまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23		2	記載なし	現在保護者の皆様との連絡手段としてLINEを主に使用しております。今後は電話やメールなども有効に活用してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	5	記載なし	活動についてはSNSを使用して活動内容等発信をしております。今後はホームページなども有効に活用して発信してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1	2	記載なし	県の指導の通り、今後も個人情報の取扱いに十分に留意した運営を行ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	5	記載なし	各マニュアルを作成し管理者を中心に職員に周知徹底しております。面談時に保護者の皆様に詳しいご説明を行ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1	8	記載なし	毎年、地震、火災に備えた避難訓練を行っております。今後もSNSやホームページでの発信を行ってまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1	7	記載なし	安全確保のマニュアルを基に、管理者を中心に職員への対応方法の周知徹底を今後も行ってまいります。保護者の皆様には、面談時に詳しいご説明を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21		4	記載なし	事故発生時のマニュアルを基に、管理者を中心に職員への対応方法の周知徹底を今後も行ってまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25			記載なし	今後もお子様が安心して通所できる環境整備を行ってまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24		1	記載なし	1か月ごとにプログラムを見直し、継続的かつ多角的に支援できるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24		1	記載なし	各個人の目標達成に今後より重点を置き、充実した支援が行えるように努めてまいります。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ウィルサボキッズ廿日市SSTs		令和7年2月14日	
		チェック項目	はい	いいえ	自己評価・改善計画・工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		県の基準を満たす十分なスペースを確保しております。利用されるお子様の人数が増えているため、効率よくスペースを使用しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		県の基準を満たす職員を配置しております。利用されるお子様の人数が増えているため、専門性と経験を備えたスタッフを配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所の設備等は県の基準を満たしておりますが、マンションの共用部分や建築基準の特性上配慮が難しい場所もあるため、今後管理会社と連携をとりながら対応してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔で心地よく過ごせる環境を今後も整備してまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別の対応が行うことが出来る環境を整えております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日ミーティングを行い、管理者を中心に業務改善を進めております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表の集計結果を職員全体に共有し、管理者を中心に業務改善を進めております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングの中で、職員間の意見交換の時間を設けたり、管理職との面談も年に2回以上行っております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		現在第三者委員には2名の方をお願いしております。今後も連携をとりながら、業務の改善を行ってまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修を行っております。今後も個々の職員にそれぞれ必要な研修の受講の機会を確保してまいります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し公表しております。月ごとにスケジュール表を作成し、保護者の皆様に共有しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		今後も、児童発達支援管理責任者を中心に、アセスメントを行い、計画の作成を行ってまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画作成の際には、児童発達支援管理責任者を中心に職員全員でミーティングを行い、意見交換を行っております。

## 適切な支援の提供

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画案に沿ったプログラムを担当職員が立案し、他職員に共有して支援を行っております。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールを都度使用しながら、お子様の状況を把握しております。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画にそれぞれの支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定しております。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムは曜日ごとに中心となる職員を決め、担当職員が中心となってプログラムの立案を行い、職員全体で修正や意見交換を行っております。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムが固定化しないよう、月ごとに様々なプログラムを行っております。季節感を感じることができるプログラムや、お子さんや保護者の皆様からのご提案を反映させたプログラムを行っております。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様の状況に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせ、計画書の作成、支援を行っております。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日ミーティングを行い、当日、次日の支援の内容や役割分担について確認を行い、チームで連携して支援を行える体制を整えております。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後には職員間で打ち合わせを行っている。職員それぞれの勤務時間の都合で当日の共有が難しい場合もあるため、今後はLINEWORKSを使用した情報共有を行ってまいります。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げております。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っております。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		4つの基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っております。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		プログラムごとに自己決定の場面を設け、都度職員がサポートしながらお子様の支援を行っております。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者、児童発達支援管理責任者が会議に参加しております。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		管理者を中心に関係機関と連携し、支援を行う体制を整えております。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		管理者を中心に学校との情報共有、連絡調整を行っております。

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		どのように共有していただくかの方法を話し合い、都度対応してまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		学校を卒業される際、他事業所を利用される際には、それまでの支援内容等の情報を速やかに提供する準備を整えております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		今後も地域の児童発達支援センターと連携を図り、スーパーバイズや助言、研修を受ける機会を整えてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		学休日に地域のお子さんとの交流ができる活動を行っております。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		管理者が定期的に参加しております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳やLINEを使用したり、送迎時に当日のお子様の様子をお伝えし、お子様の状況や課題について共通理解を持てるようにしております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		これまでご希望されるご家族への研修や情報提供などを行ってまいりました。今後は利用者の皆様に参加できる家族支援プログラムや研修会などを行ってまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		引き続き、契約時、面談時に丁寧な説明を行ってまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		年に2回の面談に加えて、活動中や送迎中、連絡帳のやり取りの中で保護者の皆様やお子様の意向を確認する機会を今後も設けてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談の際に計画の説明を行い、保護者の皆様に同意を得てサインを頂いております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		年に2回の面談に加えて、管理者が相談窓口となり、必要な助言と支援を行っております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	○	今後は年に1回程度交流イベントを開催し、保護者の皆様やきょうだい同士で交流する機会を設けてまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応受付マニュアルを作成し、管理者を中心に適切に対応できる環境を整えております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		活動についてはSNSを使用して活動内容等発信しております。今後はホームページなども有効に活用して発信してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		県の指導の通り、今後も個人情報の取扱いに十分に留意した運営を行ってまいります。
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		LINEでの連絡に加えて、電話やメールを状況に応じて使用しております。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域のイベントに参加するなど、地域に開かれた事業所運営を行っております。今後は事業所主催のイベントも行ってまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成し管理者を中心に職員に周知徹底しております。面談時に保護者の皆様に詳しいご説明を行ってまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、発生に備えた訓練や研修を行っております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時、面談時に状況の確認を行っております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのあるお子様への対応は、保護者の皆様に確認を行っております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理を十分に行ったうえで支援を行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		今後、契約や面談時に周知を行ってまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した際には、事業所内で共有し、再発防止の検討を都度行っております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、虐待防止に向けた対応を行っております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約、面談時に保護者の皆様に説明を行い、放課後等デイサービス計画にも記載しております。